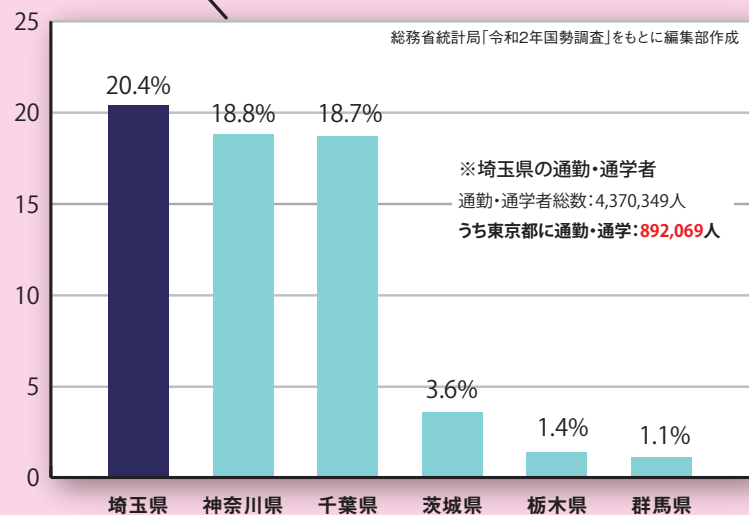


埼玉で暮らし、東京で働く

都内に住むよりも、住まい、家計、休日にゆとりが生まれやすいのが埼玉の良さ。
東京で働きながら、埼玉で暮らす人が多いことは、データにも表れている。

関東6県で埼玉県がトップ！

東京都へ通勤・通学する人の割合



11自治体で3人に1人以上が都内へ！

市町村別 東京都へ通勤する人の割合



総務省統計局「令和2年国勢調査」をもとに編集部作成

埼玉県に住んでいる通勤・通学者のうち、20・4%が東京に通っている（グラフ）。この割合は関東6県で最も高く、およそ1人に1人が都内の職場や学校に通っている計算だ。さらに、県南部を中心とする11自治体では、通勤者の3人に1人以上が都内に通勤している（図）。こうした数字の背景には、いくつかの理由がある。まず、都心との距離の近さ。県南の一部エリアなら、

東京都内の市部に住む場合と比べても、都心までの所要時間はほとんど変わらない。JR、東武鉄道、西武鉄道など、都心方面に向かう鉄道路線が充実していることも大きい。より広い住まいを手に入れやすかったり、自家用車での移動がしやすかったり、暮らしの自由度が高まることも、埼玉を選ぶ理由の一つだろう。

平日は東京で働き、帰る場所や休日過ごす拠点は埼玉に置く。そんなライフスタイルは特別なものではない。ゆとりある暮らしという視点に立つと、東京から埼玉への住み替えは、十分に現実的な選択といえるのだ。

働く場所は東京でも、暮らす場所は自由でいい。
「住まいが広くなった」
「家計に余裕ができた」
「休日の選択肢が増えた」
埼玉に住み替えた人たちは、そんなゆとりを実感しながら、これからの暮らしを思い描く。

東京から埼玉へ 住み替え

私たちが叶えた ゆとりの暮らし

埼玉

東京で働き、埼玉に住む人たちは、どんな理由でその選択をしたのだろう。
埼玉のどこに良さを感じているのだろう。埼玉へ住み替えた人の声を聞いてみた。



①駅直結の複合施設「サウスピア」内にある武蔵浦和図書館は、平日は20時まで開館。「仕事帰りに立ち寄れて便利」とのこと②並べば座れる始発列車。新宿まで約30分③別所沼公園をよく散歩するそう。1年後はベビーカーを押しているはず。

上田さん夫妻のbefore/after

家賃	8.5万円 6.9万円	14.7万円
間取り	1K(30m ²) 1K(26m ²)	2LDK(60m ²)
最寄り駅	千歳船橋駅 粕江駅 (小田急線)	武蔵浦和駅 (JR埼京線、 JR武蔵野線)
駅歩	12分 15分	14分

※Beforeの上段は啓斗さん、下段は沙希さん

沙希 子どもは2人ほしいと思っています。出産して落ち着いたら、この街でもう少し広い部屋を探すつもりです。



上田 啓斗さん(36)・沙希さん(31) 夫妻

「通勤しやすく、休日を楽しんでいます。次の部屋もこの街で探すつもりです」

上田さん夫妻の「東京→埼玉」のリアル

- 結婚と出産に備え、同棲を始めたかった
- 家賃の負担が減り、自家用車を購入。休日の楽しみが増えた
- 第2子も見据えて、この街でもっと広い部屋を探す予定

啓斗 妻も私も地方出身の上京組です。卒業後は都内で就職し、それぞれ一人暮らしをしていました。結婚する前に同棲を、ということだったので、3年半ほど前に武蔵浦和に引っ越してきました。

沙希 武蔵浦和を選んだのは、2人とも新宿乗り換えだったからです。座りたいときは始発、急いでいるときは通勤快速、状況に応じて乗り分けています。

啓斗 出張で地方に行くこともあるので、羽田空港からの帰りの高速バスが本当に助かります。

沙希 以前は私も夫も1Kの物件に住んでいました。いまは2LDKです。家賃の負担は減ったのに、

床面積は以前の1K2戸の合計よりも広くなり、部屋も増えました。啓斗 家賃が安くなり、マンションの駐車場にも空きがあり、そうしろと言わんばかりの状況でもありましたので、一念発起して自家用車を購入しました。休日の行動範囲が広がり、個人的には始発よりも暮らしの質を高めてくれたと思っています。

沙希 駅前はタワマンだけでなく、スーパーや100円ショップ、区役所や図書館もあり、朝から晩まで賑やかです。一方で、少し離れれば、別所沼公園や秋ヶ瀬公園など、自然に親しめる場所があります。荒川の土手を戸田市や川口市のほうまでサイクリングすることもありますが、4、5月は特に気持ちいいですね。

啓斗 昨年の6月に入籍し、挙式もしました。妻のお腹にはいま赤ちゃんがいて、冬には家族が増えます。2LDKという間取りを選じたのは、このときのためでもあります。



①緑、遊具、水辺などと公園にほしいものがすべて揃う戸塚中台公園。子どもが生まれたら訪れる回数が増えそう②大通りは自転車の通行帯と歩道が分かれていて歩きやすい③「新しい街に越してきたのでいろいろと散策したい」と遠藤さん夫婦。

遠藤さん夫妻のbefore/after

家賃	12.9万円	13.6万円
間取り	1LDK(39m ²)	2LDK(57m ²)
最寄り駅	久我山駅 (京王井の頭線)	東川口駅 (埼玉高速鉄道、 JR武蔵野線)
駅歩	5分	15分

唯 隣の浦和美園駅にイオンモールがあるのもうれしかったです。都内では近くになくて、これは楽しむしかないなど。

洋輝 近所には公園もたくさんあります。身近で自然を感じられまし、将来、子どもができたとき遊ばせる場所にも困らなそうです。道も広く、安心して子育てできそうだと感じます。



遠藤 洋輝さん(30)・唯さん(30) 夫妻

「前に住んでいた街よりも子育てがしやすそうだと感じています」

遠藤さん夫妻の「東京→埼玉」のリアル

- 将来の子育てに備え、広い住まいに引っ越したかった
- 新築で広く、太陽光発電を利用できることが住まい選びの決め手に
- 歩道が広く、店も多く、整った街並み。暮らしやすさを実感

唯 住み替えを決めた一番の理由は、部屋が狭かったからです。もし子どもができたとして、1LDKはさすがに厳しいなど。ただ、都内で2LDK以上の物件だと、収入に占める家賃の割合がいぶ増えてしまいます。東京にこだわりはなかったのですが、千葉や埼玉で探すことにしました。

洋輝 一番重視したのが、始発列車です。最初は松戸駅、それから浦和美園駅で探しました。

唯 東川口にしたのは、仲介業者の方から「乗り換え客が多いので、意外に座れますよ」と教えていただいたからです。

洋輝 紹介いただいた物件はどれも

魅力的でした。現在の住まいを選ぶ決め手となったのは、新築で、太陽光発電を備えていたことです。この先、こんな物件に住む機会はないかもしれないと思って。

唯 通勤時間は少し長くなりましたが、座れるから苦になりません。駅までの歩道が広いのもうれしいポイントです。キャリアケースを引いて移動することがよくあるので。

洋輝 以前はリビングと寝室だけでしたが、いまは洋室の1つをパソコン部屋にしました。自宅での仕事もしやすいです。

唯 駅から自宅までの間にスーパーが3つとドラッグストア、少し歩けばホームセンターもあり、暮らしに必要なものは近場で揃います。街並みも整っていて、まだ引っ越して間もないですが、暮らしやすさを実感しています。

住まい、子育て、通勤、休日。すべてにゆとり 東京⇄埼玉のBefore & After

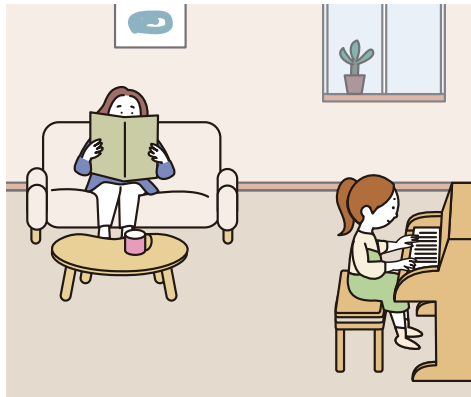
東京から埼玉へ住み替えた人たちは、
きっと暮らしのさまざまな場面で、ゆとりが生まれたことを実感している。
住まい、通勤、子育て、休日。それぞれがどう変わったかを見てみよう。

東京→埼玉で、暮らしはどう変わった？

	Before:東京	After:埼玉
平均家賃(参考)	15.5万円／1LDK(北区)	16.9万円／3LDK(川口市)
収納	季節家電の一部が部屋の片隅に	収納が増えて部屋すっきり
居室	仕事、食事、遊び、すべてをリビングで	仕事、食事、遊び、すべてを別々の部屋で
通勤	満員電車で我慢の30分	始発列車で45分の自分時間
子どもの習い事	通信教育	通信教育、ピアノ、スイミング
移動手段	自転車、電車	自転車、電車、自家用車
買い物	仕事帰りにいつものスーパー	休日に車でスーパーをはしご、まとめ買い
資産運用	学資保険	学資保険、つみたてNISA

習い事のゆとり

家計に少し余裕ができたので、娘の習い事を増やした。住み替えを機に始めたピアノとスイミング。ゆとりだけで着実に上達している。娘の成長を頼もしく思う反面、つい口を出しすぎる悪癖をどうにかしたい。



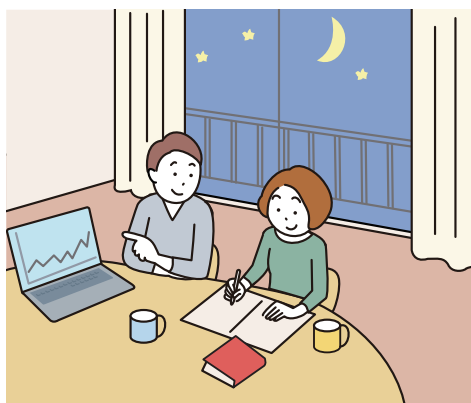
通勤時間のゆとり

通勤時間は少し長くなった。だだど始発列車で座れるから、満員電車で立ち続ける我慢の時間ではなく、自分だけの自由時間になった。家では息子に中断されがちな読書も、ここなら誰にも邪魔されない。



将来へのゆとり

暮らしにゆとりが生まれると、将来にも目を向けやすくなる。学資保険に加え、つみたてNISAも始めた。子どもが寝た後、運用レポートを見ながら、中学受験や老後について定期的に話し合っている。



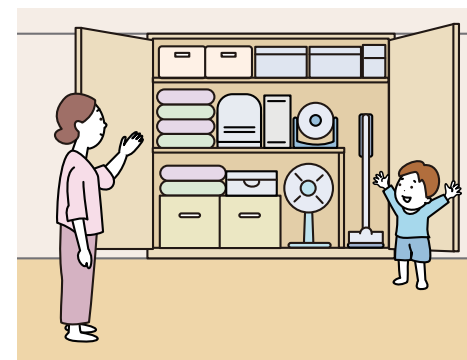
移動のゆとり

駐車場料金が都心より手頃だと知り、車を買った。休日はいつもの店を回り、まとめ買いをする。一度持つと車のない生活は想像できない。近場でも車を使ってしまうので、自転車の出番が減ってしまった。



収納のゆとり

部屋が少なかった頃は、扇風機などの季節家電や中身不明の段ボール箱が部屋の片隅に置きっぱなしだった。今はすぐに使わないものはクローゼットへ。収納が増え、部屋は広々。おうち時間が前より心地よくなった。



住まいのゆとり

東京の1LDKから埼玉の3LDKへ。リビングは家族で過ごす場所、個室には仕事部屋、子ども部屋、寝室と、それぞれ役割を持たせた。何もかもリビングですませていた頃に比べ、毎日ぐっと快適になった。

